

くすりフェア開催!

3月、いきいき富山館
(有楽町交通会館B1)
で、「くすりフェア」が
開催されます。

熊胆丹、六神丸、赤玉など富山の置き薬
を中心に現役の売薬さんがみなさまの
相談に応じます。

くすり
販売
時間

3月1日(金)~3日(日)

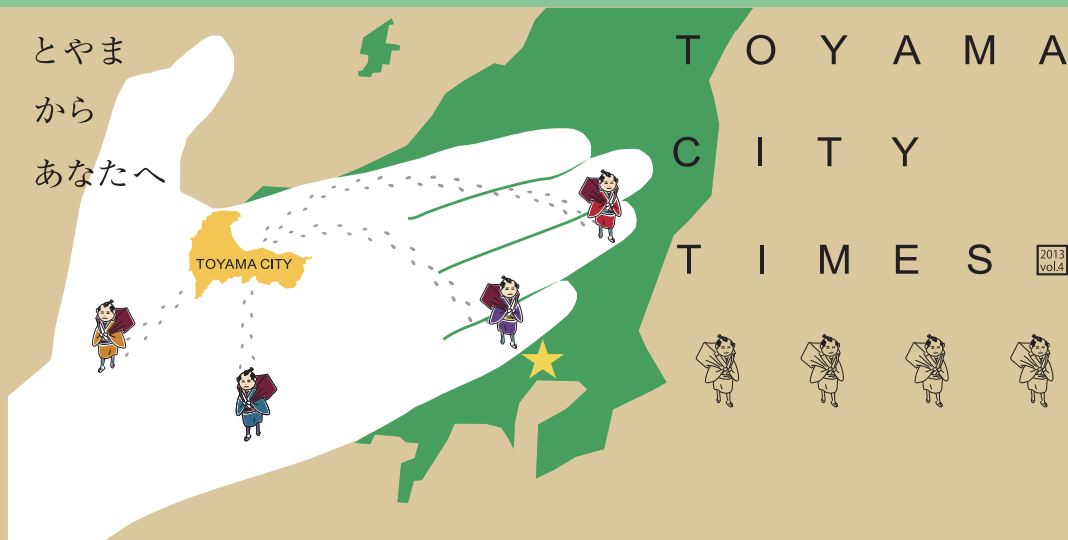
10:00~18:00(最終日は17:00まで)

特典

期間中1,000円以上
お薬を購入された方に
素敵なグッズをプレゼント



とやま
から
あなたへ



◆発行部数:3,000部 ◆発行・編集:富山市企画調整課(〒930-8510 富山県富山市新桜町7-38) ◆発行:平成25年2月
◆ご意見・お問い合わせ:TEL.076-443-2010 Email:kikakutyosei-01@city.toyama.lg.jp

富山では降雪のピークも過ぎ、春が近づいてまいりました。みなさま、いかがお過ごしですか。
体調を崩しがちな季節の変わり目に、富山の「くすり」はいかがでしょう。
ということで今回は「薬都とやま」をテーマにお届けします。

特集 薬都とやま

富山といえば「くすり」—— そんなイメージをお持ちの方は少なくないと思います。そこで今回は「薬都とやま」と題し、富山とくすりの深い関係についてお知らせします。

歴史的なほらいた

富山でくすりが発展したはじまりは、今から三百年以上前の1600年に江戸城内で起きた小さな出来事がきっかけと言われています。江戸に参勤中の富山藩主前田正甫(まさとし)公が江戸城へ登城した際、腹痛を訴えたある大名に、懐中薬としていた反魂丹(はんごんたん)を服用させたところ、たちまち腹痛が治まりました。これを見た諸大名の間で「富山の薬が効く」と評判になり、自領でも売り広めてほしいとの申し入れが相次いだとのことだ。

このいわゆる「江戸城腹痛事件」で全国的に有名になった富山のくすり文化ですが、なんといつても特徴的なのはその販売システムです。それは、売薬さんが各家庭に薬を預け、次に訪れた際に、使った分の薬代金を支払ってもらうというもので、「用を先にして、利を後にすることから「先用後利(せんごうこうり)」といわれています。

ルーツあれこれ

先用後利の仕組みは、顧客情報の管理による合理的なマーケティングや経営合理化をもたらし、後に「売薬資本」と呼ばれる巨大な資本を生みだしました。この売薬資本によって、各種金融機関や電力会社の設立、薬品をはじめとした製造業の振興など、そ



の後の富山の産業の基礎が築かれることとなりました。また、おみやげ用の紙風船やパッケージなどによって培われた印刷技術や、くすりの容器として発達したチューブ、アルミ、ガラスの加工技術など、くすりから派生した様々な技術により幅広い産業化が進むなど、売薬は現在の富山の重要なルーツとなっています。



最近では、このくすり文化を「食」を通じて発信しようと、「富山やくせん」の取組みも広まっています(詳しくは裏面をご覧ください)。

伝えたい 売薬さんのこころ

こうした富山のくすり文化の発展は、くすり自体の効能はもちろんとして、全国各地を行商してまわった売薬さんの存在なくしては語れません。そこで今回は、現在も実際に活躍しておられる売薬さんに、お話を伺いしてみました。

— 売薬をはじめたきっかけを教えてください。

「これは代々売薬の家系です。親の背中を見て育ってきましたから、継ぐのは当然だと思っていました。自分のように代々継いでいく人が多いですが、薬品会社勤務から売薬になる人もいますね。」

— どのような期間で売薬を行うのですか？

「以前は年2回だけ富山に戻り、あとは各地をまわっていたようですが、現在では3週間に1度は富山に戻ってきます。多くの売薬さんは現地にいる間は、下宿先やアパートに暮らしていますが、家を持つという人もいますね。」

— お客さんからの信用が大切だと思いますが、そのための秘訣などはありますか？

「自然が第一ということですね。長い付き合いになるので、ウソはつけません。そうすることでお客さんから信用してもらえます。誰に習ってもなく、そういう風にならなりました。」

— 売薬ならではの話しなどはありますか？

「富山の売薬りはいまでも「富山から来ました」のひと言で家に入れてもらえることがあります。また、お客さんからお米や野菜、果物などいろいろなものをもらうこともよくあります。家族同然のつきあいになったり、ときには、薬のことだけでなく、縁談をはじめとしたいろいろな人生相談を受けることもありますね。具体的な相談内容はここでは言えませんが(笑)」

— 最後にひと言いただけませんか？

「長くやってきましたが、喜びがあるから続けてこられました。今の若い人にも売薬についてもっと知ってもらえたら嬉しいです。」

— どうもありがとうございます。

参考: 社団法人富山県薬業連合会ホームページ



今回お話を伺った売薬さん
左から中嶋さん、神田さん、吉田さん、川村さん

あの名作を東京で ミュージカル「ハロー・ドリー！」 公演決定！

昨年、富山市のオーバード・ホールで上演されたミュージカル「ハロー・ドリー！」が、今年8月、同ホールでの再演に加え、東京都豊島区の東京芸術劇場の上演が決まりました。

「ハロー・ドリー！」は、1964年に米国で初演された名作ミュージカルで、19世紀後半のニューヨークを舞台に、世話好きの結婚仲介人ドリーが周囲の人たちや自分自身の恋の成就に奔走する物語です。富山市民文化事業団と富山市によって初の日本語上演が実現しました。配役は、前回公演と同様、主役のドリーは富山市出身で元宝塚歌劇団トップスターの剣幸(つるぎみゆき)さん、相手役のホレスはタレントのモト冬樹さんが務めます。



◎公演日 富山公演：8月16日(金)～18日(日)

東京公演：8月23日(金)～25日(日)

◎詳しい公演情報は、決まり次第こちらのホームページでお知らせします。
<http://www.aubade.or.jp>

東京目線で魅力を再発見！ 丸の内朝大学 + 富山

富山市・南砺市・立山町の3市町は、東京の丸の内を中心に開催されている早朝講座、「丸の内朝大学」と連携した事業を実施しています。

今年度は、丸の内朝大学講座「地域プロデューサークラス(富山編)」を開催し、東京と富山のそれぞれで活躍している方々の交流を通じて、新たな魅力を発信するための斬新な取り組みが提案されました。

具体的には、富山の豊かな食材を獲得していく「フードラリー」や富山のくすり文化を「処方」という形で観光へつなげるツアー、観光バス・電車に向かつて住民みんなで手を振ってもてなすイベント、世界遺産の合掌造りを活用した「極上のお昼寝」の体験会など、ユニークな企画が提案され、実際にイベントが実施されはじめています。

今後、東京でも順次イベントが開催される予定です。ぜひご注目ください！

※詳細は、富山市ホームページキーワード検索で「丸の内朝大学」と検索



提案を発表する参加者(東京丸の内にて)

京都で味わう、おいしい富山 富山やくぜん

富山のくすりの魅力を、食を通しておいしく知ってもらおうと、「富山やくぜん」の認定が行われています。

「富山やくぜん」とは、富山のくすりの伝統を活かし、富山産の食材や健康に良いとされる食材を使った料理のことで、これまでに、和食・洋食、中華をはじめとして52品目(42事業者)が「富山やくぜん」として認定されています。薬膳といえは「薬くさい」というイメージがあるかもしれませんが、この「富山やくぜん」では、食べておいしいものが認定されており、新たな富山グルメのひとつとして注目されています。

※個々の事業者の認定品目についてはホームページをご覧ください。

<http://www.yakuzen-toyama.com/>



【事業者一覧(42事業者)】

- (1)健康膳菜都(池田屋安兵衛商店) (2)とやま自遊館 (3)竹島旅館 (4)割烹扇 (5)癒菜甘春々堂(ちゅんちゅんどう) (6) Osteria食堂ふらいばん (7)いけす割烹店銀鱈(ぎんりん) (8) オークスカナルパークホテル富山欧風レストランユーロカフェ「エヴー」 (9) オークスカナルパークホテル富山モダン和食スタイル「WAZA」 (10) 富山第一ホテル中国料理「白楽天」 (11) 富山電気ビルディング レストラン(12) 十々八(ととや) (13) 栄寿司 (14) 割烹丸庄本店 (15) パレプラン高志会館「リトル上海」 (16) ドラゴンレッドリバー (17) リバートリート 雅楽倶西洋膳所「サヴール」 (18) 中国四川料理四川乃華二口店 (19) 中国四川料理四川乃華飯野店 (20) BakuHouse (21) 万里摩理 マリーマリー (22) 割烹佐阿美 (23) チャイナハウス 楼蘭 (24) くの一(くの一) (25) ANAクラウンプラザホテル富山「カフェ・イン・ザ・パーク」 (26) くすしそば本舗まるぜん (27) 寿し処佐々木 (28) すし健 (29) 寿司栄総輪船店 (30) カフェフェロー (31) 街なか薬膳カフェポエシア・プランカ (32) 焼肉処しずか (33) モカ洋菓子店 (34) 空目羊羹鈴木亭 (35) そば処大庵 (36) 新栄堂 (37) 創業80年せんべいの田中屋 (38) 大野菓子店 (39) 旭食品(株) (40) 味のなかだ(株) 中田食品 (41) 越中料理五万石本店 (42) 備イノベーション大和 御福屋事業部

全日本チンドンコンクール

今年も富山市の春の風物詩、「全日本チンドンコンクール」が開催されます。

「全日本チンドンコンクール」は、昭和30年から現在まで続く全国唯一のコンクールで、全国から30組100人近くのチンドンマンが集結します。松川の桜が咲き誇る中、趣向を凝らした派手な衣装のチンドンマンが、太鼓・三味線などの音色を響かせ、富山の春と人々の笑いを運んでいきます。

どうぞ、満開の桜とチンドンコンクールを目当てに富山にお越しください。

◎日付：4月5日(金)、6日(土)、7日(日)

◎場所：富山市総合体育館、平和通り、グランドプラザほか



コト富弁 No.4 呼び名いろいろ

いまでもよく使われる富山弁として、家族関係などを指す名詞表現があります。よく使われるだけに、これがわからないと話が通じないということもしばしば。例えばこんな表現があります。

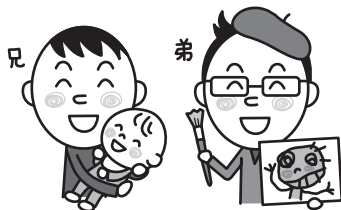
例文1: あこなちの あんまんとこの ねね ちんとしとったちゃ

例文2: あんたらっちゃ おっじゃのえーさま みたけ?

例文1は「あこなち=あそこの家」「あんま=長男・兄」「ねね=赤ちゃん」「ちんとする=じっとしている」で、「あそこの長男の家の赤ちゃんはおとなしかった」という意味になります。

例文2は「あんたらっちゃ=あなた達」「おっじゃ=次男・弟」「えーさま=絵」で、「あなた達、弟の絵をみた?」という意味になります。

これらの意味がわかれば立派な富山通です!ただし、意味はわかっても、なぜ絵に「様」をつけるのかは、富山の人もわからないのでした。



ご意見・ご要望をお待ちしております。

富山市では、本紙に対するご意見・ご要望をお待ちしております。①住所 ②氏名 ③良かった記事 ④その他ご意見等を記載の上、はがきもしくはメールにて送付してください。

宛先 〒930-8510 富山県富山市新桜町7-38 富山市企画調整課
メールアドレス kikakutyousei-01@city.toyama.lg.jp